

令和2年度 第2回天王寺区教育会議（会議要旨）

日 時：令和3年3月23日（火）19時30分～20時20分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：[学校協議会]

一宮委員（天王寺中）、香川委員（夕陽丘中）、米川委員（天王寺小）、
荒木委員（大江小）、角谷委員（聖和小）、井澤委員（五条小）、
永井委員（味原小）、竹内委員（真田山小）

[区政会議子育て・教育班]

井川委員、植田委員、中谷委員

[学校]三木校長（大江小）、中務校長（夕陽丘中）

[区役所]加藤 区担当教育次長、吉村 区教育担当部長、糸井 区教育担当課長、
岩上 区教育担当課長、渡邊 区教育担当課長代理

傍聴者・報道関係者：なし

○今年度の教育に関する取組について、糸井 区教育担当課長より説明

○委員意見及び回答

➤グローバル人材の育成について

・「英語交流・国際理解教室」について、6日間の実施で約240万円かかっているのは何故か。

→ 予算のほとんどは実施事業者への委託料であり、講師・講師補佐等の人件費が実施経費の大半を占めている。参加人数が少なく費用対効果に課題があるので、次年度は、これまでの講座型事業に加え、できるだけ多くの子どもたちが参加できるイベント型事業を新たに計画している。

これまでは、限られた子どものきっかけ作りの場であったが、できるだけ多くの子どもたちが体験できる形に変えていきたい。

➤「子ども会議」の開催について

・子どもたちの意見を吸い上げ、その意見を尊重し反映していくことが大切である。子どもたちが話し合い自主的に企画し意見を事業に活かしていく機会として「子ども会議」の開催などを検討していただきたい。

→いまの時代、子どもたち自身が考えて行動していくことが大事である。学校においても、そのような考えのもと教育活動が行われている。子どもたちの意見を聞き反映する取組を、まずは「ジュニアクラブ活動」で取り組んでいきたい。

これまでは区役所の事業や学校の教育活動でも、大人たちが準備したものに参加するということが多かった。次年度から新たに行う「(仮称)中学校総合文化祭」においても、生徒は参加するだけでなく、自分たちで何をするかを考え参加してほしいと考えている。また、部活動だけではなく、日頃の授業で頑張っている子どもにもスポットライトが当たるよう、いろいろな形で発表できる場を考えていきたい。

➤民間事業者を活用した中学生学習支援事業について

・「天王寺塾」の参加生徒が少なく、次年度は予算も減額されるが、生徒数を増やす方策について何か考えはあるのか。

→「天王寺塾」の予算は少ないが、参加生徒の受講料1万円で実施している事業である。次年度の実施方法については、新たに実施事業者となる(株)エデュケーショナルネットワークより、受講コマ数を1コマから2コマへ増やし(授業時間1回70分間から140分間に増加)、自習スペースに自主学習のための貸出教材を用意するなどの提案を受け、実施する予定である。先日、4月からの受講生を募集したところ、夕陽丘教室(区民センター)、味原教室(区子ども・子育てプラザ)とも定員となり、受付を締め切っている状況である。